

グローバルに展開するスペシャリティー ケミカルカンパニーを目指して

— 世界を視野に
アジアで存在感を —



2007年3月期決算説明会



住友精化株式会社

2007年6月6日

第1章:会社概要

・概要	4
・事業の変遷	5
・過年度の業績推移	6
・過年度の有利子負債等の推移	7
・事業分野と用途①機能樹脂事業	8
・事業分野と用途②精密化学品事業	9
・事業分野と用途 ③ガス・機器システム事業	10

第2章:2007年3月期決算概要

・決算ハイライト	12
・セグメント別売上高・営業利益	13
・損益計算書	14
・経常利益変動要因分析	15
・貸借対照表	16
・貸借対照表変動要因分析	17
・キャッシュフローの状況	18
・その他	19
・配当方針	20

第3章:中期経営計画の概要

・数値目標	22 ~ 23
・全社事業戦略	24
・化学品事業	25 ~ 27
・ガス・エンジニアリング事業	28
・投融資と資金原資	29
・新製品・新事業	30 ~ 32
・売上高、利益進捗状況	33

第1章：会社概要

・概 要	4
・事業の変遷	5
・過年度の業績推移	6
・過年度の有利子負債等の推移	7
・事業分野と用途①機能樹脂事業	8
・事業分野と用途②精密化学品事業	9
・事業分野と用途 ③ガス・機器システム事業	10

会社概要 (平成19年3月31日現在)

- 設立 1944(昭和19)年7月20日
- 資本金 9,698百万円
- 従業員数 1,014名(連結ベース)
- 事業内容(化学品／ガス・エンジニアリング)
・機能樹脂、精密化学品、ガス・機器システム

- 連結子会社 国内3社、海外2社
- 生産拠点 国内3箇所
海外3箇所(非連結含む)
- 研究拠点 国内2箇所、海外1箇所
- 駐在員事務所 海外2箇所

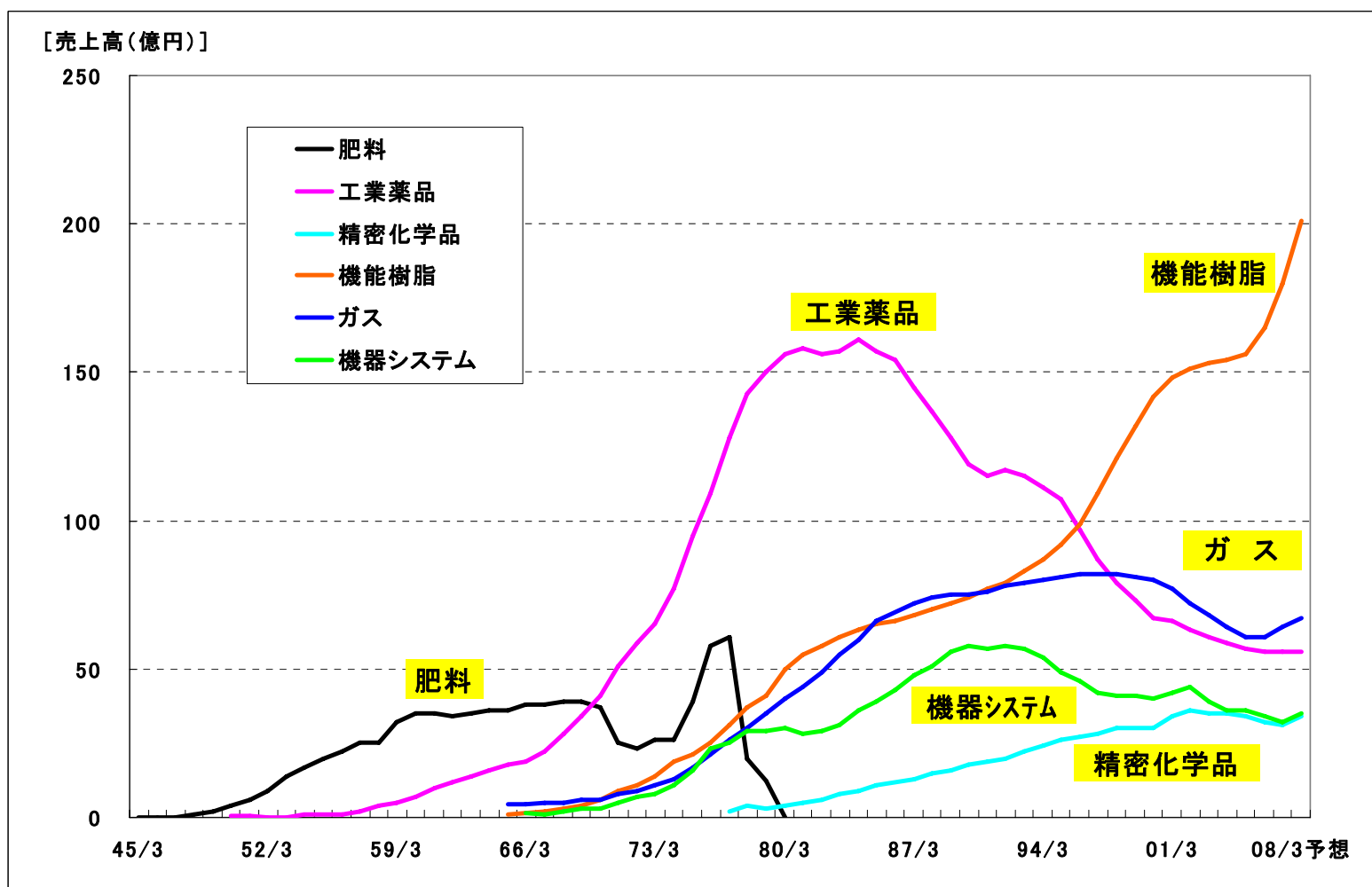
■ 国内



■ 海外

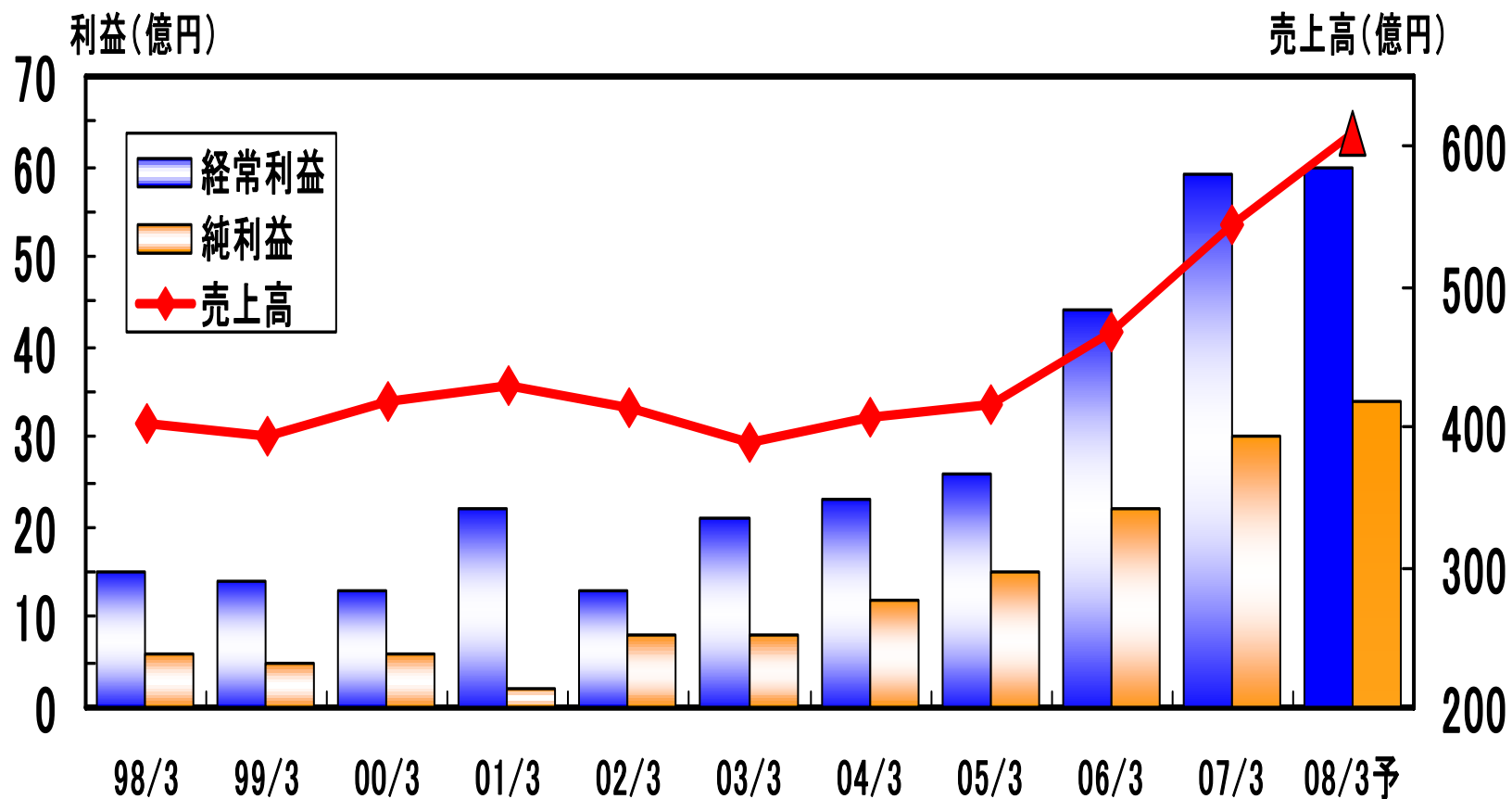


事業の変遷



(社名変更) 1944年 7月 住友多木化学工業
1946年 4月 別府化学工業
1961年10月 製鉄化学工業(合併)
1989年10月 住友精化株式会社

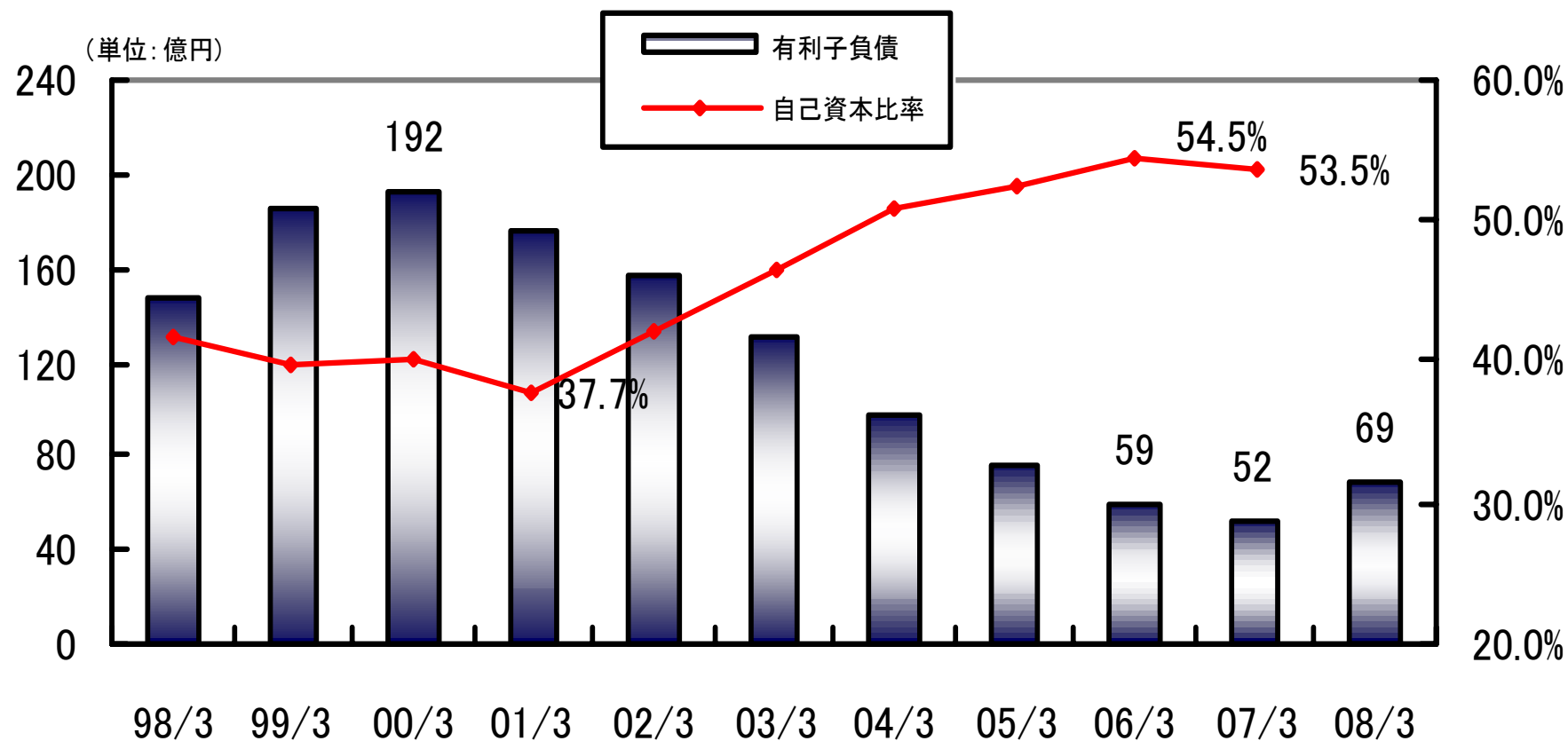
過年度の業績推移



(単位: 億円、小数点以下四捨五入)

	98/3	99/3	00/3	01/3	02/3	03/3	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3予
売上高	402	394	418	429	413	388	407	417	467	545	610
経常利益	15	14	13	22	13	21	23	26	44	59	60
純利益	6	5	6	2	8	8	12	15	22	30	34

過年度の有利子負債等の推移



(単位: 億円、小数点以下四捨五入)

	98/3	99/3	00/3	01/3	02/3	03/3	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3予
有利子負債	148	185	192	177	158	130	98	75	59	52	69
自己資本	217	217	220	211	216	217	231	241	265	289	
総資産	517	545	548	559	512	464	455	459	486	539	

事業分野と用途 ①機能樹脂事業

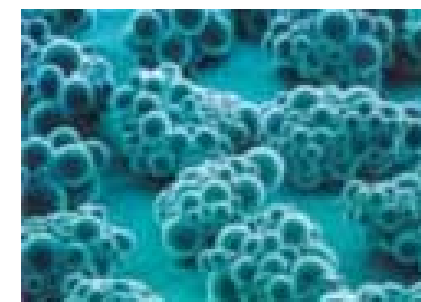
○吸水性ポリマー

- ・高吸水性樹脂(紙おむつ等衛生材料、ペットシート、ケーブル止水材)



○水溶性ポリマー

- ・生活アメニティ製品
- ・各種増粘剤(抄紙用粘剤等)



○微粒子ポリマー

- ・化粧品、コーティング剤



○エマルジョン/ラテックス

- ・特殊接着剤
- ・特殊ゴム製品

事業分野と用途 ②精密化学品事業

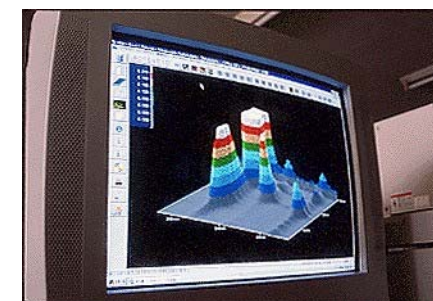
○医薬関連製品

- ・医薬中間体
(抗炎症剤、エイズ薬、糖尿病薬等)



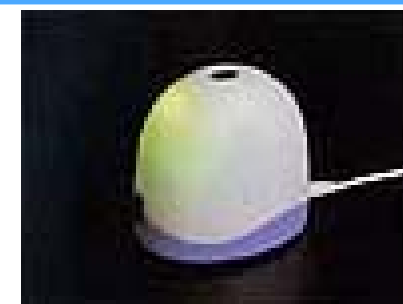
○機能性材料

- ・近赤外線吸収色素安定剤(プラスマテレビ等)
- ・写真薬中間体



○各種工業薬品

- ・各種有機硫黄化合物(BTX抽出溶媒等)
- ・塩素化剤(殺虫剤、除草剤等)



事業分野と用途 ③ガス・機器システム事業

○エレクトロニクスガス

- ・LED、LCD用
- ・半導体絶縁膜用



○標準ガス

- ・有害大気汚染物質測定用(HAPs)
- ・各種分析、実験用



○その他ガス

- ・笑気ガス(麻醉ガス)
- ・食品添加物用ガス
(笑気ガス)
- ・生活関連ガス
(スプレー缶噴射剤)



○ガス発生装置(PSA)

- ・酸素発生装置
(電炉用等)
- ・水素PSA



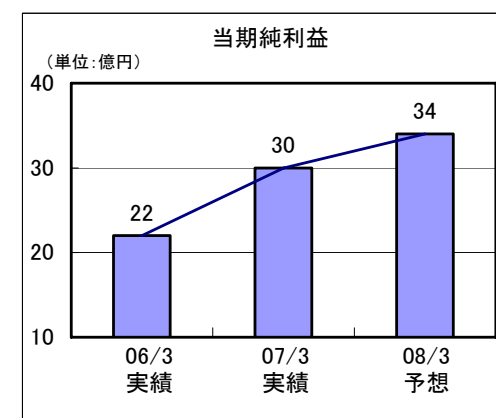
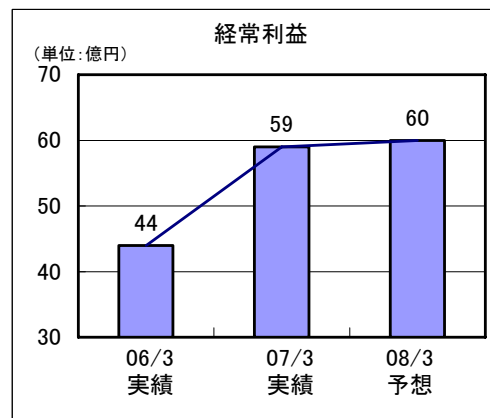
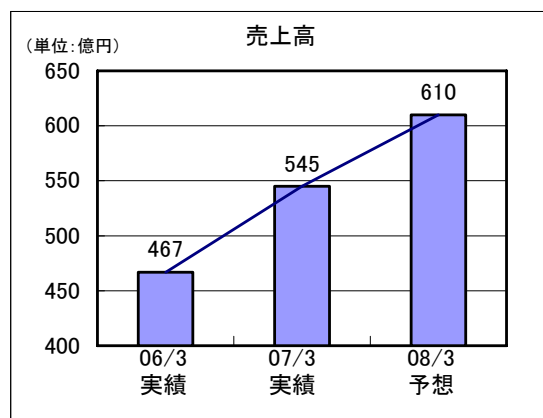
第2章：2007年3月期決算概要

・決算ハイライト	12
・セグメント別売上高・営業利益	13
・損益計算書	14
・経常利益変動要因分析	15
・貸借対照表	16
・貸借対照表変動要因分析	17
・キャッシュフローの状況	18
・その他	19
・配当方針	20

決算ハイライト

(単位:億円)

	06/3期 実績	07/3期 実績	08/3期 予想	06/07 増減率	07/08 増減率
売上高	467	545	610	117%	112%
営業利益	45	61	62	136%	101%
経常利益	44	59	60	133%	102%
当期純利益	22	30	34	138%	112%



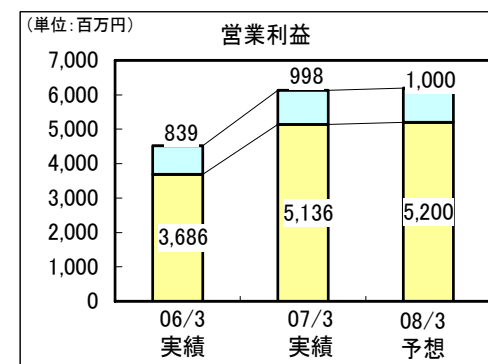
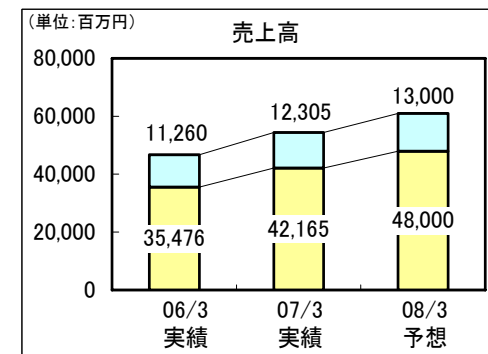
06/07対比 : 高吸水性樹脂の拡販。エレクトロニクスガスの販売伸長。

07/08対比 : 売上高は、高吸水性樹脂、水溶性ポリマー等の拡販で増加。利益は、設備投資の先行費用負担と原料高騰等もあり横ばい。

セグメント別売上高、営業利益

(単位:百万円)

		06/3 実 績	07/3 期 績	金 額 増 減	前 期 比 (%)
化 学 品 事 業	売 上 高	35,476	42,165	+6,688	119%
	営 業 利 益	3,686	5,136	+1,449	139%
ガ ス ・ エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業	売 上 高	11,260	12,305	+1,045	109%
	営 業 利 益	839	998	+158	119%
合 計	売 上 高	46,737	54,471	+7,733	117%
	営 業 利 益	4,502	6,129	+1,627	136%
海外売上高比率		33.4%	40.9%	—	7.5%



損益計算書

(単位:百万円)

	06/3 実	期 績	07/3 実	期 績	金額 増減	前期比 (%)
売上高	46,737		54,471		+7,733	117%
売上原価	34,180		39,733		+5,553	116%
売上総利益	12,557		14,737		+2,180	117%
販売費及び一般管理費	8,055		8,608		+553	107%
営業利益	4,502		6,129		+1,627	136%
営業外収益	170		165		△5	97%
営業外費用	271		420		+149	155%
経常利益	4,401		5,874		+1,473	133%
特別利益	477		84		△393	—
特別損失	1,195		863		△332	72%
税引前当期純利益	3,684		5,095		+1,411	138%
法人税、住民税及び事業税	1,655		1,579		△76	95%
法人税等調整額	△288		158		+446	—
少数株主利益	108		315		+207	292%
当期純利益	2,208		3,042		+834	138%

* 売上高経常利益率

9.4% → 10.8%

(06/3期) (07/3期)

* ROA

9.3% → 11.5%

(06/3期) (07/3期)

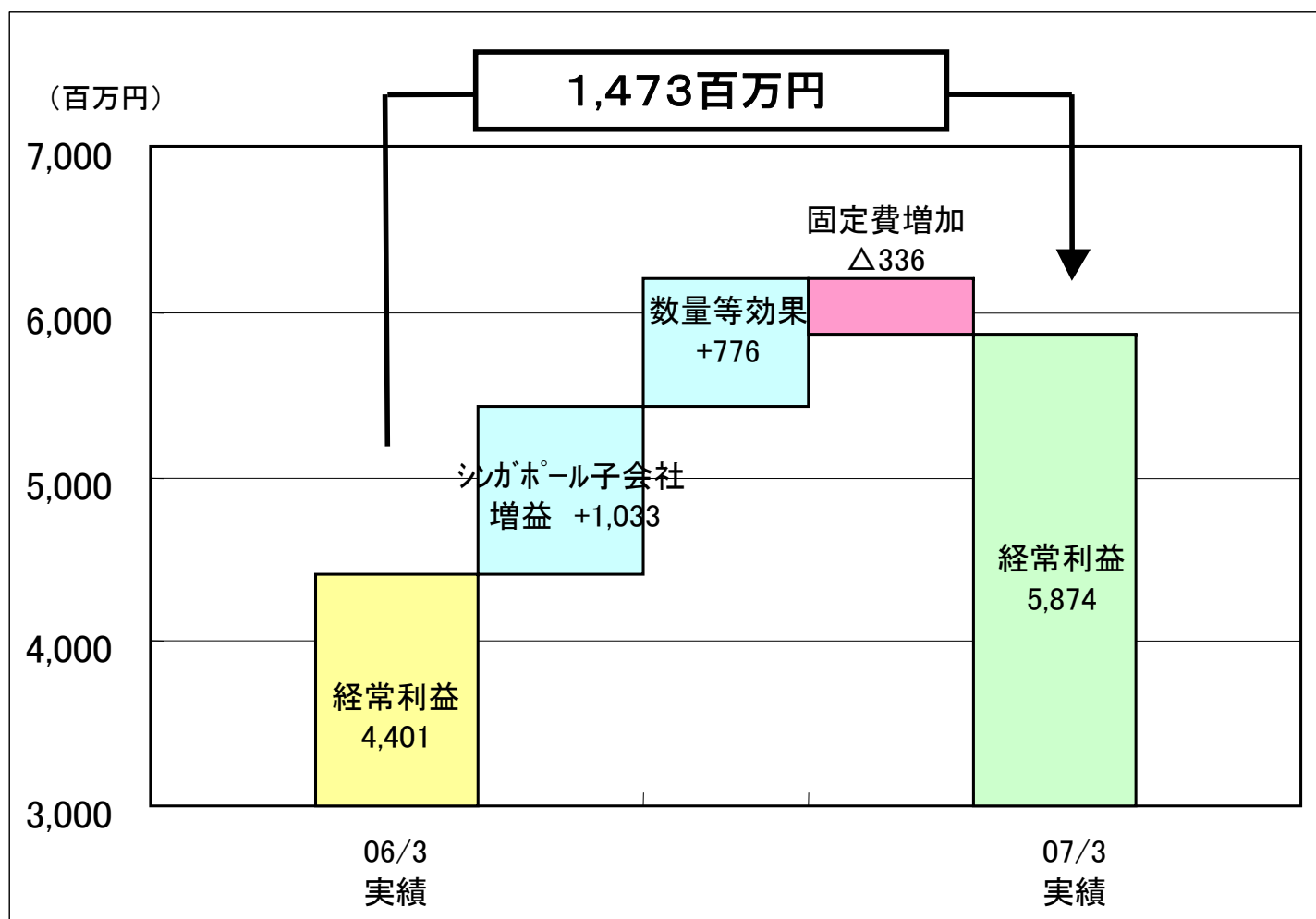
* ROE

8.7% → 11.0%

(06/3期) (07/3期)

※百万円未満切捨てで表記

経常利益変動要因分析



<主な要因>

- ・海外市況が順調であり、シガポール子会社の業績が堅調。
- ・固定費増加を拡販等の数量効果および効率化により吸収。

貸借対照表

(単位:百万円)

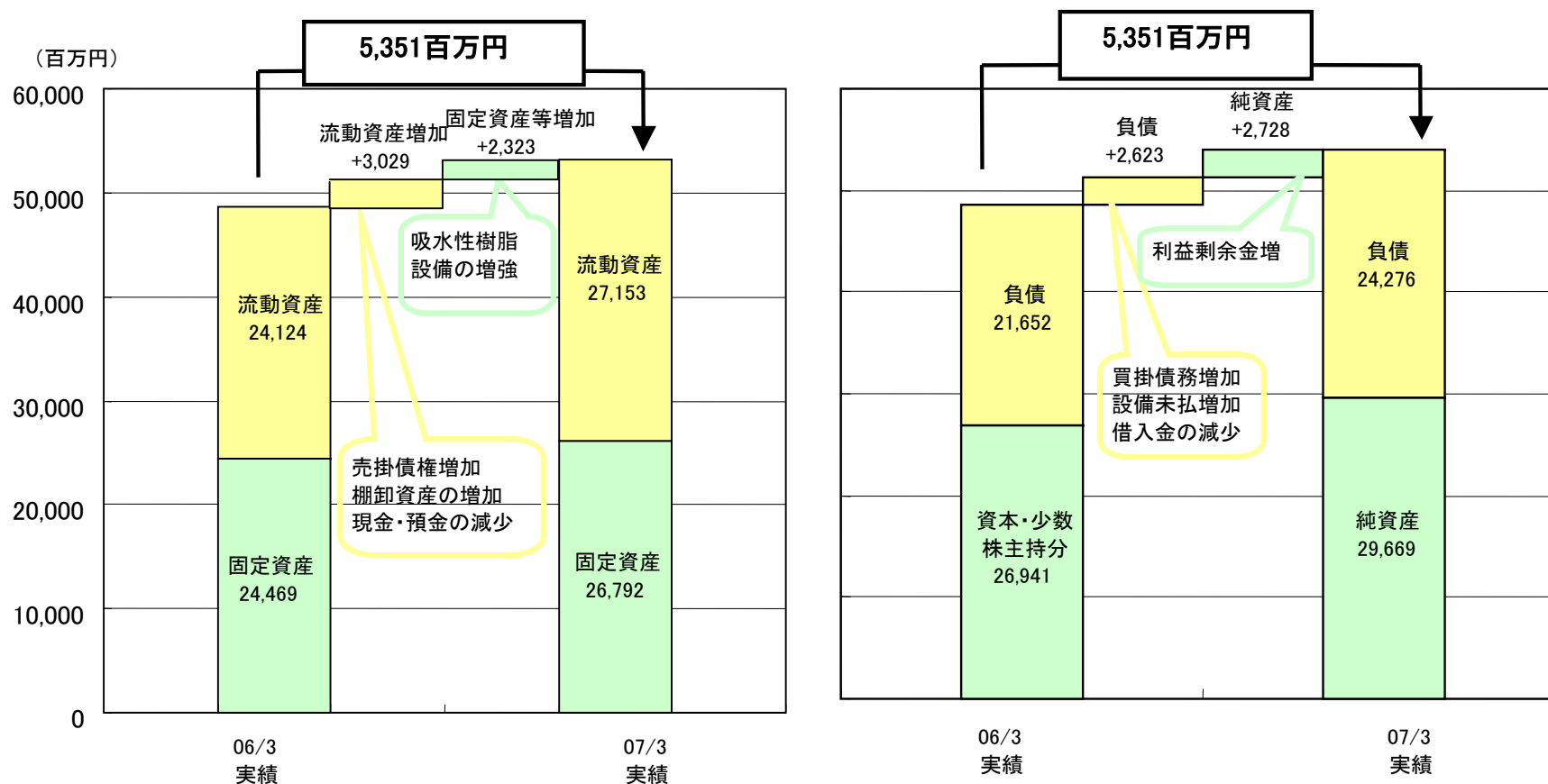
	06/3 実	期 績	07/3 実	期 績	金額 増減
【流動資産】	24,124		27,153		+3,029
受取手形及び売掛金	14,154		17,517		+3,363
【固定資産】	24,469		26,792		+2,323
有形固定資産	18,898		21,498		+2,600
投資その他資産	5,499		5,202		△297
資産合計	48,594		53,945		+5,351
【流動負債】	13,624		17,755		+4,131
支払手形及び買掛金	7,968		10,019		+2,051
【固定負債】	8,028		6,520		△1,508
負債合計	21,652		24,276		+2,624
資本／純資産	26,941		29,669		+2,728
負債・純資産合計	48,594		53,945		+5,351

(参考)

D/E レシオ(倍)	0.2	0.2	—
自己資本比率(%)	54.5%	53.5%	—

※百万円未満切捨てで表記

貸借対照表変動要因分析



<主な要因>

- ・事業拡大による売掛債権・買掛債務等の増加。
- ・利益剰余金の増加に伴う純資産の充実。

キャッシュフローの状況

(単位:百万円)

	06/3 実	期 績	07/3 実	期 績	金額 増減
営業活動によるキャッシュフロー	5,510		4,338		△1,172
投資活動によるキャッシュフロー	△2,511		△4,472		△1,961
財務活動によるキャッシュフロー	△2,416		△1,442		+974
新規連結による増加額等	164		9		△155
現金及び現金同等物の増加額	748		△1,566		△2,314
現金及び現金同等物の期末残高	3,058		1,492		△1,566
有利子負債残高	5,877		5,151		△726

※百万円未満切捨てで表記

	06/3 実	期 績	07/3 実	期 績	08/3 予	期 想
設備投資額（億円）	34.8		51.9		70.0	
減価償却費（億円）	23.1		22.4		27.0	
研究費（億円）	13.6		16.0		17.0	
期末従業員（人）	977		1,014		1,040	
平均為替レート（円／米ドル）	113.3		117.0		115.0	
ナフサ価格（円／KL）	42,400		50,000		55,000	

配当方針

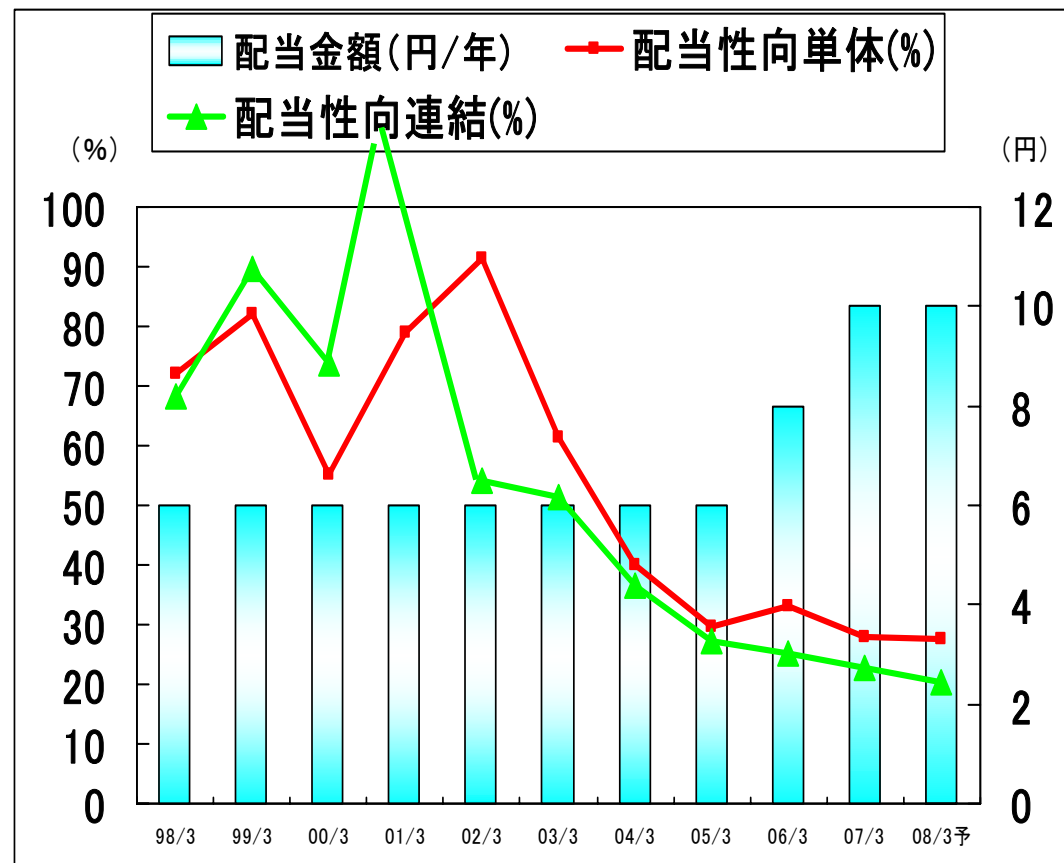
各期の収益状況をベースに、安定的な配当実施、内部留保などを勘案して決定。

内部留保資金・・・生産体制拡充、コスト競争力の強化、研究開発に投資。

07/3期・08/3期の配当について

■07/3期の株主配当金
10円

■08/3期の株主配当金(予定)
10円



	98/3	99/3	00/3	01/3	02/3	03/3	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3予
配当金額 (円/年)	6	6	6	6	6	6	6	6	8	10	10
配当性向単体 (%)	72.1	82.0	55.3	78.9	91.4	61.4	39.9	29.7	33.0	27.8	27.6
配当性向連結 (%)	68.3	89.7	73.7	239	54.1	51.4	36.7	27.2	25.3	22.7	20.3

第3章：中期経営計画の概要

・数値目標	22 ~ 23
・全社事業戦略	24
・化学品事業	25 ~ 27
・ガス・エンジニアリング事業	28
・投融資と資金原資	29
・新製品・新事業	30 ~ 32
・売上高、利益進捗状況	33

数值目標 ①到達目標

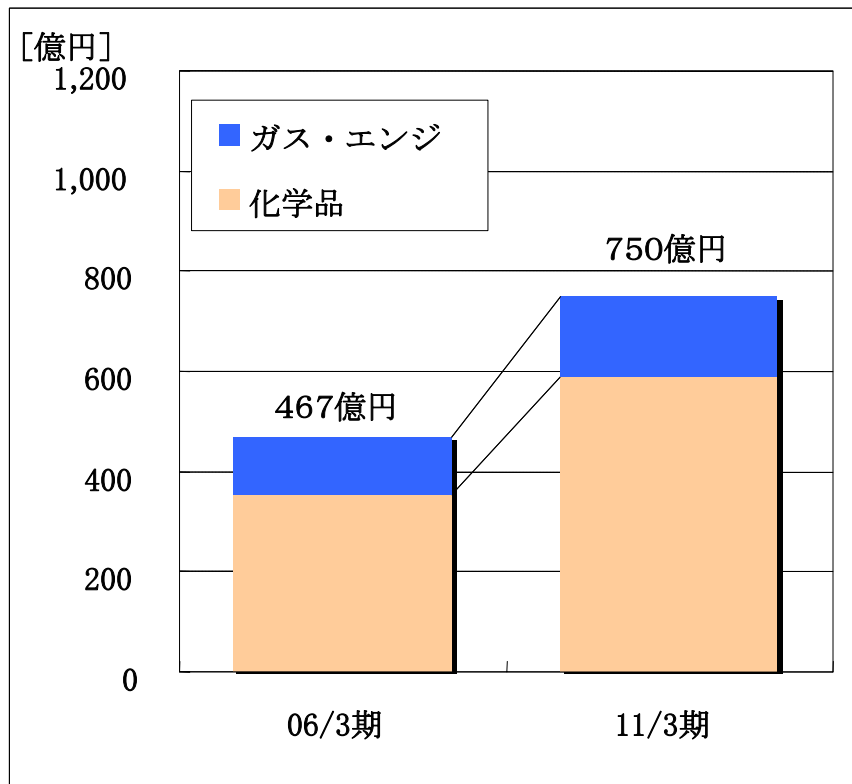
<到達目標>

(単位:億円)

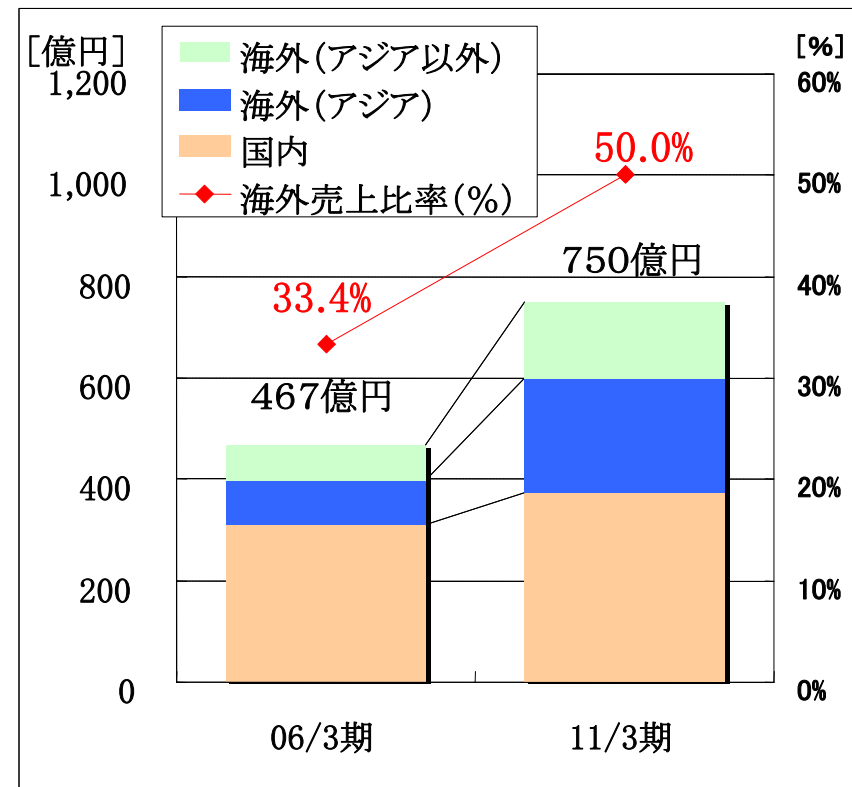
	06/3期	11/3期	増加額
売上高	467	750	+283
経常利益	44	75	+31
純利益	22	45	+23
ROA	9.3%	10.7%	—
ROE	8.7%	10.5%	—

数値目標 ②売上高セグメント別・海外比率

<セグメント別売上高>



<海外売上高>



既存事業の強化・拡大

- ① 吸水性樹脂の事業規模拡大
- ② 海外市場の開拓
- ③ 新規用途開発による事業基盤強化

- ◆ 吸水性樹脂設備増強
- ◆ アジアを中心とした市場の開拓

新製品・新事業の創出

- ① 事業部の新製品開発による成長
- ② コーポレートの新事業・新製品による成長

- ◆ 研究開発推進会議
- ◆ 産官学との連携開発
- ◆ 外部資源の活用

売上高	750億円
海外売上高比率	50%
新製品比率	9.3%
住友精化社員数	1,023名
外国人社員数(外数)	113名

化学品事業 ①吸水性ポリマー部門

吸水性ポリマーの規模拡大

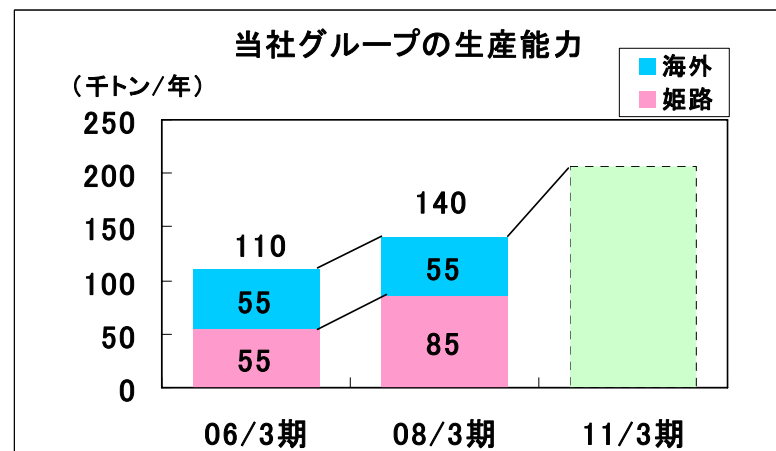
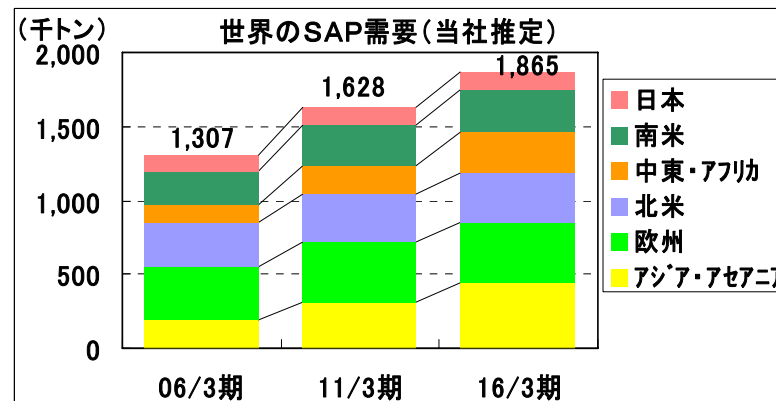
強みの発揮

- ・ 高い技術を活かした品質優位性
- ・ 綿密な顧客への技術サービス
- ・ シンガポール拠点を活かした販売ネットワーク

プラント増強

- ・ 姫路工場 : 3万トン/年実施
- ・ 海外 : 増強検討

アジアを重点とした世界規模での事業拡大を目指す



化学品事業 ②機能樹脂部門

新規用途、顧客開拓、アジア市場開拓

高付加価値を有する新規製品のスピーディーな開発と上市

成長分野で、グローバルに事業を展開し、規模の拡大を目指す

水溶性ポリマー

- ・ 新規用途への拡販
- ・ 品質の差別化等により国内外の新規顧客の獲得

微粒子ポリマー

- ・ 輸出を中心とした積極的な拡販
- ・ 新規ポリマーの早期事業化

エマルジョン/ラテックス

- ・ 主要顧客への拡販
- ・ 設備能力改善による拡販

化学品事業 ③精密化学品部門

得意とする有機硫黄化合物合成技術
を基盤とした製品開発を行う

ディスプレイ、記録材料、電池材料等の成長分野で、
当社の独自性(ユニークさ)を発揮した製品開発を目指す

得意技術と成長分野をキーワードとして、
新製品上市、拡販を目指す

医薬関連製品

- ・有機硫黄化合物をベースとした、継続的な新製品の上市
- ・大型医薬品が期待できる特定薬効で、国内外の顧客への拡販

機能性材料

- ・表示材料などの成長分野に特化
- ・市場のニーズを発掘し機能を追求した高付加価値な製品の創出

各種工業薬品

- ・新規顧客の獲得
- ・既存品誘導体の探索、開発

ガス・エンジニアリング事業

持続的な成長基盤構築を目指し、国内およびアジアにおいて既存事業の強化拡大を図る

電子材料・環境エネルギーなどの成長分野で、新規ガス材料などの上市を図る

エレクトロニクスガスを中心に事業規模・利益拡大

エレクトロニクスガス

- ・ 重点品目の事業拡大
- ・ アジアにおける製造、販売拠点の構築

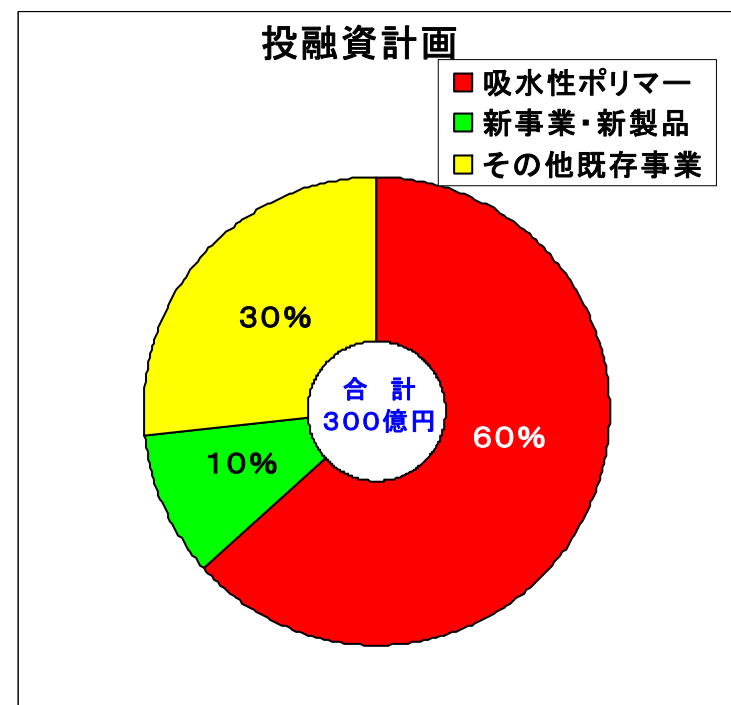
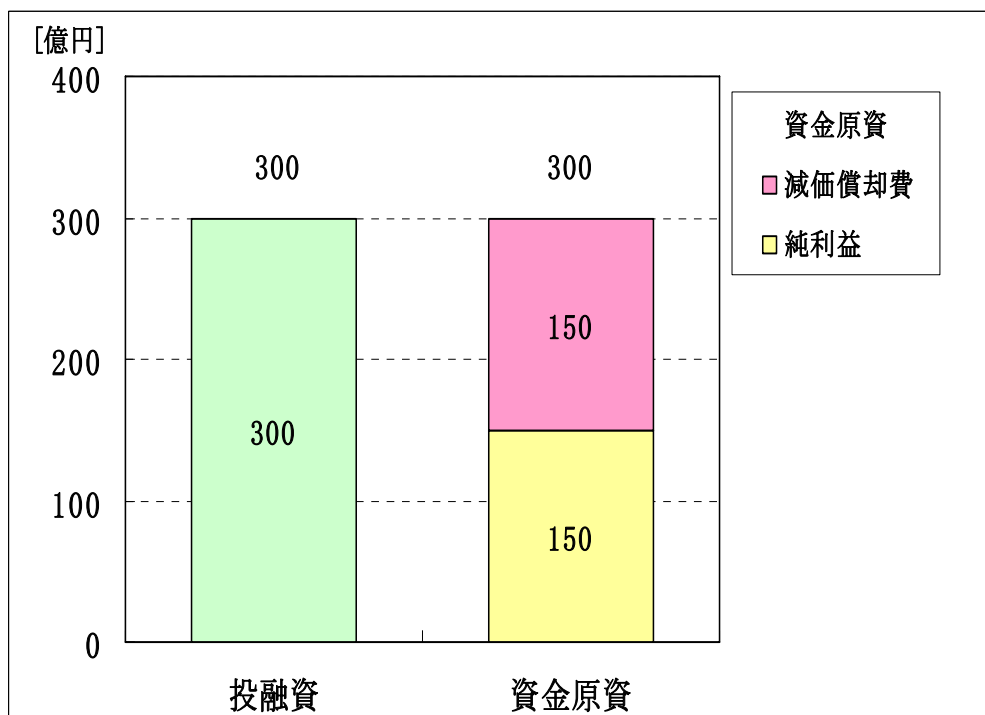
標準ガス

- ・ 得意技術を活かした特殊ガス拡販(高品質標準ガス、CO、小型軽量容器、着臭ガス)
- ・ 海外展開による事業拡大(台湾、中国)

機器システム

- ・ PSAの需要開拓並びに海外市場をターゲットとした顧客獲得
- ・ 新エネルギー分野の市場開拓(水素PSA)

<投融資計画5年間>



新製品・新事業 ①数値目標

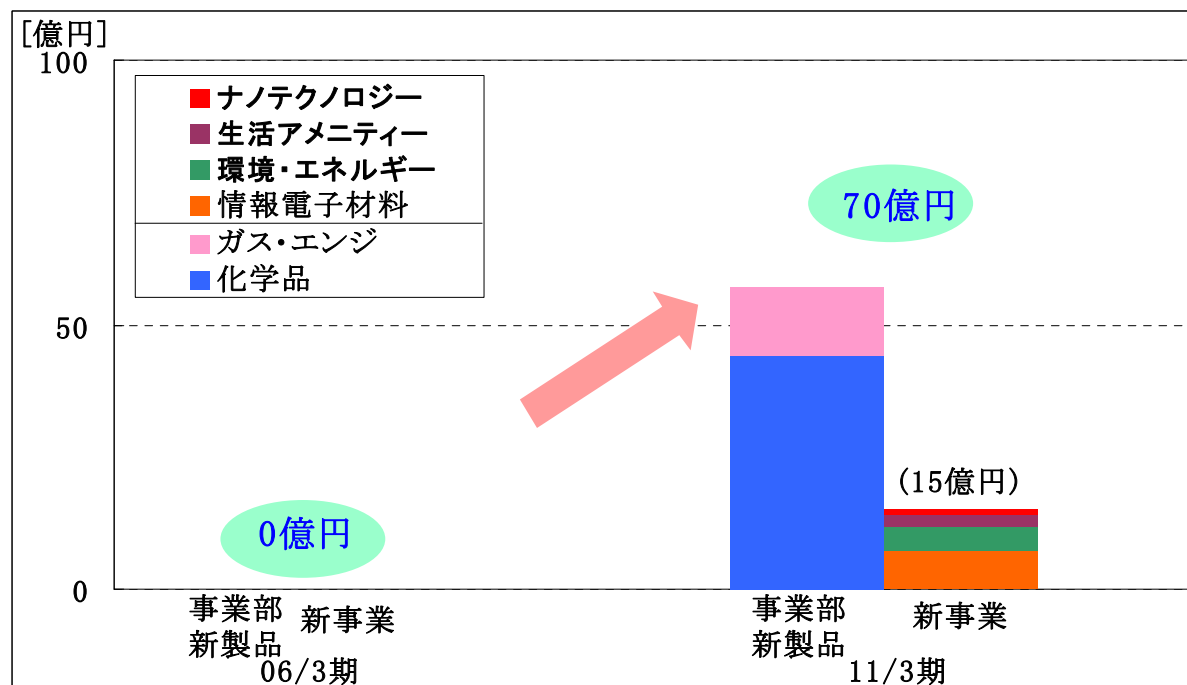
<新製品・新事業>

- ① 情報電子材料
- ② 環境・エネルギー
- ③ 生活アメニティー
- ④ ナノテクノロジー

化学産業
市場期待度
技術適合度

当社有望テーマ選択

次世代コア事業
の育成



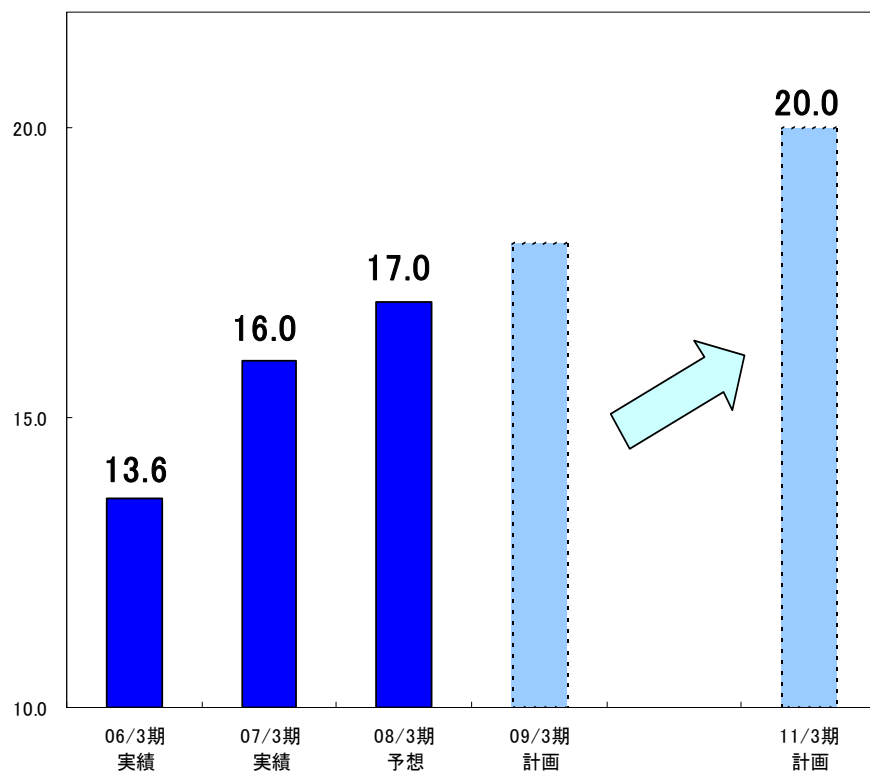
新製品・新事業 ②当社有望分野

有望分野	当社技術	対象部材分野
情報・電子材料	有機硫黄化合物合成技術 重合技術	半導体関連部材
		表示材料
太陽電池		
二次電池		
環境・エネルギー	有機硫黄化合物合成技術	
生活・アメニティー (ライフサイエンス)	重合技術 微粒子化技術	新規水溶性ポリマー
	重合技術	
製造技術 材料と技術	微粒子化技術 重合技術	ナノテクノロジー材料

新製品・新事業 ③研究開発

研究開発費推移

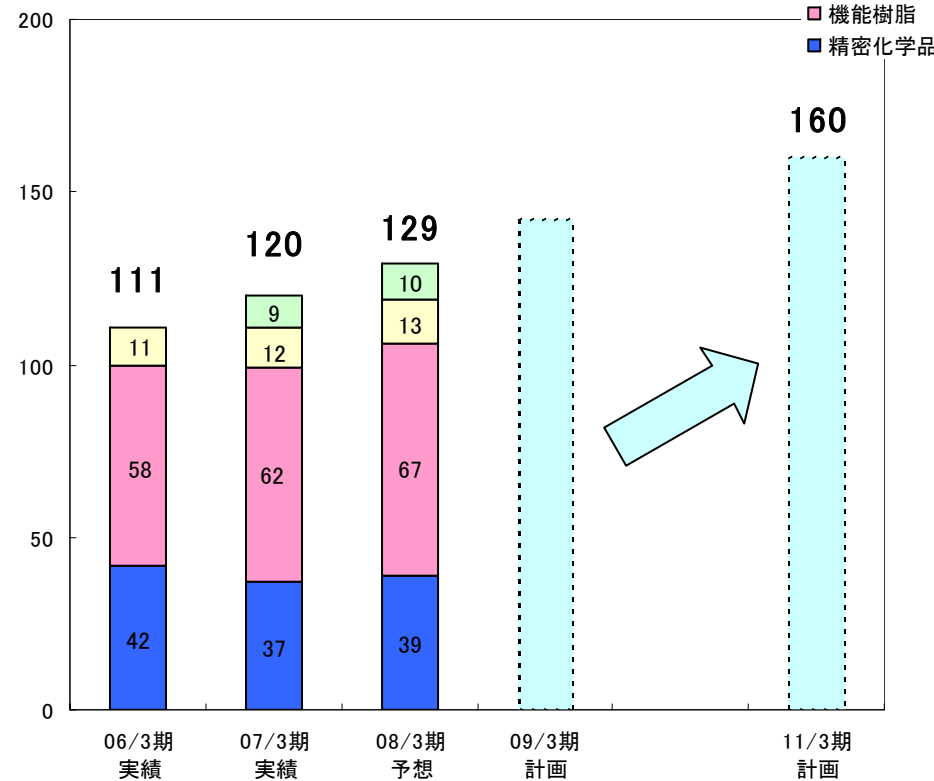
(単位: 億円)



(単位: 人)

研究人員推移

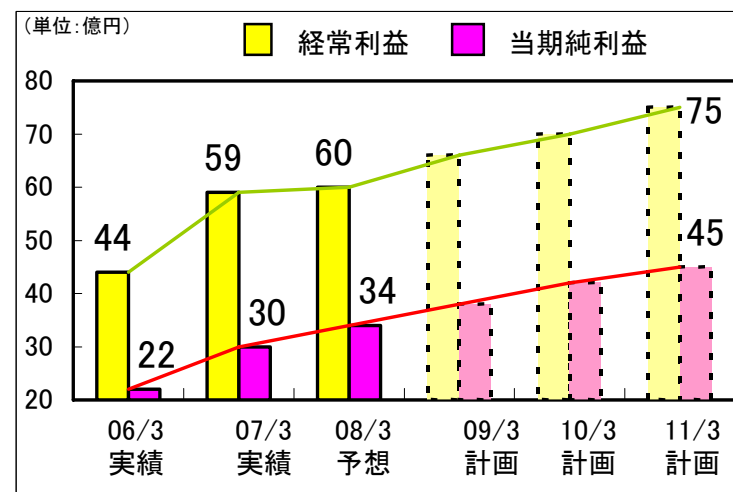
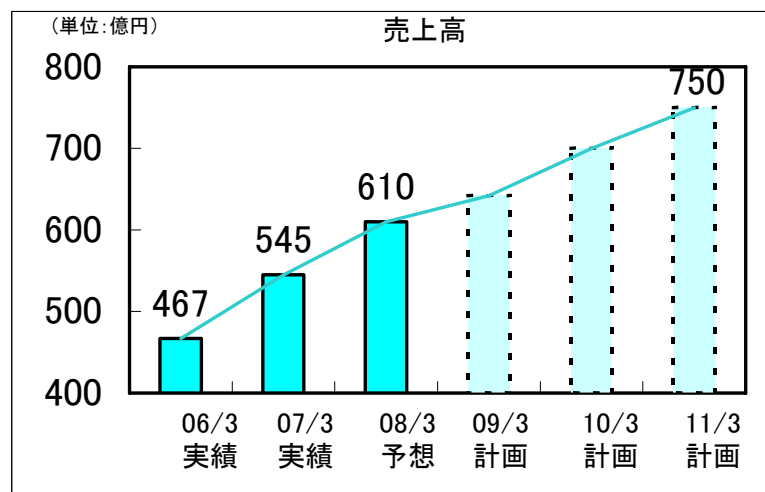
- コーポレート
- ガス
- 機能樹脂
- 精密化学品



売上高、利益進捗状況

(単位:億円)

	06/3期 実績	07/3期 実績	08/3期 予想	11/3期 計画
売上高	467	545	610	750
経常利益	44	59	60	75
当期純利益	22	30	34	45



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
また、記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。
当資料の情報は、断りなく変更されるものである点をご了承ください。

当資料に関するあらゆるお問い合わせは、
下記までお問い合わせください。

総務人事部(広報)

TEL06-6220-8508

<http://www.sumitomoseika.co.jp/>

 住友精化株式会社